

白樺と虹と太陽と

令和5年度 校長通信

9月7日発行

第7号

文責 中野善文

最優秀賞受賞！ ことばで伝える 故郷への想い 『どこへ行っても』

2023年9月7日 朝刊

久慈、洋野、野田、普代の4市町村12中学校から12人が出場した。下館さんは人口減少が進む山形地区の状況を説明。闘牛大会やシラカバ植樹、郷土料理まめぶのPRなどを通じて、地域の魅力を広く伝えようとする人たちの「故郷に対す

市) 入賞者は次の通り(学年はいずれも3年)。
▽優秀賞 粒来佳太郎(中野 林 崎舞海(野田)▽優良賞 久慈未結(待浜) 根井希絆(久慈)小林稀(種

た。 さんが最優秀賞に選ばれた。 「私たちができることだ」と言い切った。 下館さんは県大会(13日、盛岡市)に出場する。他の入賞者は次の通り(学年は

洋野

わたしの主 張久慈地区大 た」と学んだ。 住民の温かさに触れてき たこれまでの歩みを振り返り、今後地元を離れても自 分の古里はここだと胸を張 っつて言いたい」と主張。地 域を知り、心を寄せること

下館さん(久慈中) 久慈地区代表 わたしの主張



最優秀賞の下館春稀さん

2年間の「地域学」の成果！★ 集大成は県中総文祭ステージで!!

9月5日(火)に洋野町民文化会館で行われた「令和5年度わたしの主張久慈地区大会」において、下館春稀さんが最優秀賞に輝きました。本校生徒が最優秀賞に選ばれたのは、平成21年の角美咲さん以来2人目となる14年ぶりの快挙です。

今回の発表は、昨年度から学習している「地域学」で感じたことを中心に、故郷の大切さとこれからについて大人の方と中学生のそれぞれに呼びかけました。まさに、山形中学校の生徒みんなが感じている想いを代表して発表するとともに、「地域学」の学習の成果を示してくれたと思います。春稀さんの発表に対し、参観していた洋野町の中学生男子が全力の拍手を送っていたのが印象的でした。13日(水)の県大会には、久慈地区の代表として出場します。持ち前の明るさと豊かな表現力で、会場全体を魅了してほしいと思います。

いよいよ、文化祭に向けた演劇取組が本格化します。一人ひとりが「地域学」で学んだこと、感じた想いを結集して取り組み、地域や保護者の方に演劇のテーマ「ふるさと」を伝えてほしいと思います。文化祭・県中総文祭のステージが「地域学」の集大成の場です。

【わたしの主張】13名の生徒がそれぞれの考えを聴衆に伝えるために、話の組立、表現方法等、たくさんの工夫をしていました。みなさんも当日の発表テーマについて考えてみましょう。

- ・震災を知らないわたしたちが考えるべきこと。今すべきこととは何か。
- ・地域や学校の伝統を守り受け継ぐことの大切さ。受け継いだ人にもたらされる心の豊かさ。
- ・校則改正を通して感じたきまりの意義。物ごと一つ一つの意味を考えることの大切さ。
- ・かけがえのない故郷。その価値を見つめ直し、若い世代がいかに伝え守り続けるか。
- ・協力体制がうまくいかないときの辛さ。みんなが結束して成功したときの一体感。
- ・言葉が与える影響(喜び、恐怖…)の大きさ。人間関係の大切さを見つめ直そう。

いよいよ明後日から新人戦。春稀さんの活躍に続いて、県大会出場・上位入賞を目指しましょう！